シリーズ 第19回 人生最期までこのまちで暮らす ～地域包括ケアシステムを知る～

在宅医療サポートセンターを紹介します

～住み慣れた自宅で、最期まで安心して過ごせる環境づくりを支援～

最近、病院のベッドではなく、「最期は住み慣れた自宅で過ごしたい」という、患者さん、ご家族の願いから、看取りまでを前提とした自宅での医療を希望する方が増えています。お年寄りや重い病気の人、寝たきりの人など、病院への通院が難しい患者さんが、医師や看護師などに訪問してもらい、自宅で医療を受けています。

自宅で医療を受けたいとき

まずはかかりつけ医に相談しましょう。医師が、定期的に自宅へ訪問し診療するケースもあり、その場合、そのまま続けて自宅で医療を受けることができます。かかりつけ医による訪問診療が難しい場合には、在宅医療サポートセンターまでご相談ください。自宅へ訪問し診療ができる医師をご紹介します。

看護や介護を受けたいとき

患者さんだけでなくご家族も含めて、自宅で安心して過ごせるよう、様々な職種の人たちが連携し、支援をすることが大切です。サポートセンターでは、健康状態の確認や、病気やケアに関する困りごとの相談に乗る訪問看護師や、自宅でどんな介護サービスが受けられるかを一緒に考えて計画を立てるケアマネジャーなどもご紹介します。

お気軽にお問い合わせください。住み慣れた自宅で自分らしく、心穏やかに過ごせるように、一緒に考えましょう。

【問合わせ】半田市医師会在宅医療サポートセンター　☎080-9482-2408

在宅医療普及啓発講演会

住み慣れた家で最期まで～自宅での看取りを考える～

病院や施設で亡くなるのが当たり前と思われがちですが、最近では「住み慣れた家」で自分らしく最期を過ごしたいと、在宅での看取りを希望する方が増えています。自分自身や家族が、その人生の最期の場面をどう過ごしたいのか、元気な今だからこそ、「看取り」について、考えてみませんか。

■日　時　12月11日（日）13時30分～15時40分（開場13時）
■場　所　アイプラザ半田　講堂（半田市東洋町1-8）
■申込み　高齢介護課まで（参加費無料）
■定　員　500名

堀尾　静 氏

第1部　基調講演

「人生、最期にあたって何を望まれますか」
－命の終末を支える背景と取り組み－
講師：堀尾　静 氏（医療法人 堀尾医院・社会福祉法人 碧晴会 理事長）

第2部　シンポジウム

「自宅で看取るということ～それぞれの職種の立場から～」
シンポジスト：医師……新美　和寛 氏（かみいけクリニック 院長）
訪問看護師……福崎　春子 氏（訪問看護ステーション コスモス 管理者）
薬剤師……髙本　善己 氏（おおやち調剤薬局 管理薬剤師）
ケアマネジャー…部田かね代 氏（特定非営利活動法人 ひだまり 理事長）
コーディネーター：山口　三恵 氏（知多半島医療圏在宅医療中核センター コーディネーター）

【問合わせ】高齢介護課　☎84-0644